

令和 6 年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

森林保全課

1 施設の概要等

施 設 名	広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園（ひろしま遊学の森）		
所 在 地	広島市東区福田町 10166-2		
設 置 目 的	○緑化に関する知識と技術の普及啓発 ○緑化の推進		
施 設 ・ 設 備	面積 124.97ha、管理事務所等(主要施設 4 棟)、遊歩道(12,000m)、駐車場(474 台)等		
指 定 管 理 者	6 期目	R4. 4. 1～R9. 3. 31	ひろしま遊学の森管理グループ
	5 期目	H29. 4. 1～R4. 3. 31	ひろしま遊学の森管理グループ
	4 期目	H28. 4. 1～H29. 3. 31	みずえ緑地(株)
	3 期目	H23. 4. 1～H28. 3. 31	みずえ緑地(株)
	2 期目	H20. 4. 1～H23. 3. 31	みずえ緑地(株)
	1 期目	H17. 4. 1～H20. 3. 31	みずえ緑地(株)

2 施設利用状況

利用 状況	年度		目標値 [事業計画]	入園者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	6 期	R6	103,000 人	79,724 人	△8,946 人	△23,276 人(77.4%)
		R5	103,000 人	88,670 人	△18,217 人	△14,330 人(86.1%)
		R4	100,000 人	106,887 人	12,387 人	6,887 人(100.1%)
	5 期平均 H29～R3		98,000 人	94,500 人	1,165 人	△3,500 人(96.4%)
	4 期平均 H28		96,870 人	93,335 人	△4,195 人	△3,535 人(96.4%)
	3 期平均 H23～H27		96,870 人	97,530 人	△1,175 人	660 人(100.7%)
	2 期平均 H20～H22		93,900 人	98,705 人	4,769 人	4,805 人(105.1%)
	1 期平均 H17～H19		93,600 人	93,936 人	12,513 人	336 人(100.4%)
	H16（導入前）		—	81,423 人	—	—
増減 理由	○イベント時の荒天や、初夏からの猛暑、紅葉の色づき不調など天候不順の影響による減 ○耐震改修工事等に伴うレストハウスの臨時休業（R6. 9. 17～10. 30 の平日）による減					

3 利用者ニーズの把握と対応

調 査 実 施 内 容	【実施方法】	【対象・人数】
	利用者へのアンケート調査	施設利用者、研修会参加者等 534 人
	【主な意見】	【その対応状況】
	自然に触れ合い、親子で参加できるイベントがあり、とても良かった。継続して開催してほしい。 学習展示室の再開と展示内容を充実させてほしい。	来園者へ喜んでいただけるよう、今後も多くのイベントや研修を開催する。 施設の魅力向上と学習機能の充実を図ることを目的として、令和 7・8 年度に学習展示館の改修及び展示のリニューアルを計画している。

4 県の業務点検等の状況

項 目		実績	備 考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務報告書
	日報（必要随時）	○	施設の老朽・損傷状況等
管理運営会議（1 回・現地）		【特記事項等】	

現地調査（随時）	広島市森林公園と共同で、外部の有識者を招いての活性化委員会を開催し、両園の運営について意見交換を行った（令和7年1月21日）。 【指定管理者の意見】 広島市森林公園との連携の推進により、両園の利用促進を図る。 【県の対応】 指定管理者及び広島市と協議し、連携の取組を支援する。
----------	---

5 県委託料の状況

（単位：千円）

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	6期	R6	62,338	323		—	—	—
		R5	62,015	△211				
		R4	62,226	1,521				
	5期平均 H29～R3		60,705	4,135				
	4期	H28	56,570	820				
	3期平均 H23～H27		55,750	2,500				
	2期平均 H20～H22		53,250	△3,210				
	1期平均 H17～H19		56,460	△5,794				
	H16（導入前）		62,254	—				

6 管理経費の状況

（単位：千円）

項 目			R6 決算額	R5 決算額	前年度差	主な増減理由等
委 託 事 業	収 入	県委託料	62,338	62,015	323	光熱水費の高騰に係る補填金額の増
		料金収入	0	0		
		その他収入	0	0		
		計(A)	62,338	62,015	323	
	支 出	人 件 費	30,038	27,154	2,884	職員給与費の増
		光熱水費	2,318	2,144	174	電気使用料金の増
		設備等保守点検費 清掃・警備費等	6,565	7,631	△1,066	清掃費及び廃棄物処理費の減
		施設維持修繕費	2,806	4,586	△1,780	施設修繕の減
		緑地管理費	10,372	9,822	550	委託労務費の増
		事務局費	6,069	6,782	△713	ホームページ改修費用、印刷製本費用 の減
		その他	4,180	3,907	273	保険料等の増
		計(B)	62,348	62,026	△322	
		収支①(A－ B)	△10	△11	1	
自 主 事 業 (※ 2)	収 入(C)	4,334	0	4,334	レストハウスの運営費 (定例監査での指摘により R6 年度から計上)	
	支 出(D)	7,218	0	7,218		
		収支②(C－ D)	△2,884	0	△2,384	
合計収支 (①+②)			△2,894	△11	△2,383	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	設置目的である「緑に関する知識と技術の普及啓発」を図るため、自然豊かなフィールドを利用した自然探勝や草花の観察会、親子で楽しめる木工教室等を実施した。 また、広島市森林公園との連携イベントとして、両園を繋ぐ道を散策するピクニックウォークを実施した。	多様なイベントや研修会の開催を通じて、幅広い年齢層に対して緑化に関する知識・技術の普及がなされており、アンケートの結果からも、「楽しく作業ができた」「実物を見学できて良かった」など好評を得ている。 また、広島市森林公園との共催イベントを継続的に実施している。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	緑化センターの魅力向上のため、授乳室に木材を使った内装工事の実施や案内版の新設、照明灯などの支柱の塗り替えを行った。 また、広島県緑化センターと広島市森林公園の統一愛称である「ひろしま遊学の森」のホームページを開設した。	授乳室内装の木質化など来園者が木材を身近に感じられるほか、案内版の新設など利用者の目線に立った整備がなされている。 また、「ひろしま遊学の森」のホームページを開設するなど、県民サービスの向上に努めている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	近年、新種として発見されたクマノザクラを植栽するなど、展示植物の充実を図るとともに、SNS への投稿やメディアでイベント紹介等を行うなど、施設の利用促進に努めた。	クマノザクラの植栽に併せて有識者による講演会を開催し冬場の集客を図ったほか、SNS による見頃の植物の紹介を兼ねた豆知識の発信やメディアによる魅力発信など、知識の普及に努めている。
	○施設の維持管理	毎日の警備、清掃に加え、法律及びマニュアルに定める規定回数の施設点検を実施し、必要に応じ修繕を行っている。また、適期に緑地管理を実施しているほか、来園者の安全を図るため、園内の危険木調査及び除去を実施している。	日常点検や施設点検をマニュアルに定めるとおりに行っており、必要箇所は直ちに修繕しているほか、園内の危険木調査及び除去を実施するなど、利用者の安全確保に努めている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	更なる魅力向上と業務の効率化を図るため、2社JVによる広島市森林公園との一体的な管理運営体制の強化に努めている。	2社JVの強みを生かし、各社の専門知識を有した職員を適材適所に配置することで、設備管理や緑化相談に適切に対応する体制が整っている。
	○効率的な業務運営 ○収支の適正	2社JVによる業務の効率化や、公園ボランティア等との協力体制を築くことで、施設の維持管理に係る経費の節減に努めている。	2社JVによる業務の効率化や、公園ボランティア等の協力により、指定管理料の範囲内で効率的な管理運営が行われている。

総 括	緑化センターの設置目的に即した多様な研修会等の開催や、花木の植栽等による魅力の向上に努め、利用者満足度において目標を達成することができた。 今後、利用者数の目標を達成するため、植物園機能の再生や森づくり・道づくりなどを着実に実行するとともに、広島市森林公園との連携に係る課題の抽出や効果の検証を通じて、両園の更なる魅力の向上を図る必要がある。	来園者へのアンケートでは、来園の目的に対する満足度が 93.7%と高く、ニーズに沿った管理運営がなされていることが評価できる。 次年度以降、利用者数の目標値を達成するためには、展示植物の充実や森林整備を進めるとともに、室内展示等の充実も図り、広島市森林公園との連携イベント等の企画によりファミリー層を呼び込むなど、利用者層を拡げていく必要がある。
------------	---	---

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和 7 年度)	○ 令和 6 年度に続き湿地植物園の植物管理と展示の充実を図り、人気のスポットに仕立てる。 ○ 一部の研修会の申し込み方法の改善を図る（インターネット併用の推進）。	○ 建物の照明の LED 化を行う。 ○ 樹木の高齢化による樹勢の衰えや枯損が懸念されることから、病虫害対策や危険木伐倒を行う。
中期的な対応	○ 設置目的に沿った植物園機能の再生を計画的に実施するとともに、利用者の安全に配慮した施設運営を行う。 ○ 広島市森林公園との連携体制の強化に向けた課題を整理し、今後の在り方を検討する。	○ 老朽化している施設について、壁面改修や耐震工事により順次修繕する。 ○ 施設の魅力向上のため、学習展示館の改修及び展示のリニューアルを実施する。